

10. 放課後児童会の入会等の状況

① 児童数の状況(各年5月1日現在)

(単位:人)

	A		B(C+D)		C		D		E(B/A)		
	学校児童数		必要数*		入会数		不承諾者数		必要率*		
	下学年	上学年	下学年	上学年	下学年	上学年	下学年	上学年	下学年	上学年	合計
平成27年度	4,379	4,450	912	92	912	63		29	20.8%	2.1%	11.4%
平成28年度	4,494	4,313	995	114	995	62		52	22.1%	2.6%	12.6%
平成29年度	4,433	4,412	1,045	117	1,045	64		53	23.6%	2.7%	13.1%

*「必要数」は入会数と不承諾者数の合計。「必要率」は学校児童数に対する児童会必要数の割合

(児童会別内訳)

(単位:人)

児童会名	平成27年度							平成28年度							平成29年度						
	定員数	必要数		入会数		不承諾者数		定員数	必要数		入会数		不承諾者数		定員数	必要数		入会数		不承諾者数	
		下学年	上学年	下学年	上学年	下学年	上学年		下学年	上学年	下学年	上学年	下学年	上学年		下学年	上学年	下学年	上学年	下学年	上学年
袖ヶ浦西	101	28	6	28	6		0	101	30	11	30	11		0	100	28	13	28	13		0
大久保・第二	130	105	13	105	4		9	130	111	10	111	2		8	130	111	10	111	0		10
鷺沼・第二	113	75	11	75	1		10	113	93	17	93	3		14	113	101	10	101	1		9
谷津・第二	132	88	5	88	5		0	132	96	9	96	9		0	132	123	16	123	2		14
大久保東	68	39	5	39	5		0	68	48	5	48	5		0	98	44	9	44	9		0
東習志野・第二	100	97	2	97	1		1	150	91	5	91	5		0	150	99	12	99	0		12
実花	57	46	7	46	4		3	57	43	10	43	0		10	113	43	5	43	5		0
つだぬま第一・第二	104	82	11	82	11		0	104	87	4	87	4		0	104	81	11	81	11		0
向山	48	44	2	44	1		1	48	39	7	39	0		7	48	48	2	48	0		2
実靱	48	36	4	36	4		0	87	40	3	40	3		0	86	37	4	37	4		0
藤崎第一・第二	102	69	8	69	8		0	102	78	11	78	11		0	102	73	5	73	5		0
屋敷	101	64	5	64	0		5	101	74	7	74	0		7	100	97	7	97	2		5
秋津	46	33	9	33	9		0	95	47	5	47	2		3	94	40	4	40	4		0
袖ヶ浦東	102	37	2	37	2		0	102	32	2	32	2		0	102	25	2	25	2		0
香澄	65	34	1	34	1		0	65	40	5	40	5		0	65	36	6	36	6		0
谷津南	55	35	1	35	1		0	55	46	3	46	0		3	55	59	1	59	0		1
合計	1,372	912	92	912	63		29	1,510	995	114	995	62		52	1,592	1,045	117	1,045	64		53

② 必要数の比較

(単位:人)

	下学年			上学年		
	計画	実績*	差引	計画	実績*	差引
平成27年度	1,014	912	102	705	92	613
平成28年度	1,034	995	39	691	114	577
平成29年度	1,034	1,045	-11	711	117	594

*実績は、入会承諾者数と不承諾を合計した「必要数」である。

9. 放課後児童会の入会等の状況

①児童数の状況(各年5月1日現在)

・入会に伴う必要数(入会数と不承諾の合計)は増加傾向。本市は「下学年全入制」を取っているため、下学年の待機児童はゼロであるが、上学年の待機児童が発生している。上学年の不承諾者は、平成27年度から28年度にかけてほぼ倍増しており、60名前後で推移。今後も引き続き、学校児童総数の増加が見込まれる中、特に上学年の希望者を受け入れる体制整備が必要である。

・児童会別内訳では、平成29年度において最も不承諾者が多い児童会は、谷津・第二が14名、東習志野・第二が12名、大久保・第二が10名、鷺沼・第二が9名、屋敷が5名となっている。入会数が定員に満たない状況で、不承諾が出ている児童会(大久保・第二、鷺沼・第二、谷津・第二、東習志野・第二、向山)は、7～8月の夏休み期間に入会を希望する児童が200名程度おり、下学年の希望者が多数見込まれることから、やむを得ず上学年児童を不承諾としている。

②必要数の比較

・これまでの計画値と、実績を比較すると、現計画の上学年の計画値が大きく、現状の実績と比べて、大きな乖離が生じている。これは平成25年2月に実施した「子育て支援に関するニーズ調査」において、放課後児童会の利用意向に関する質問で、上学年になっても児童会を利用したいと回答した者が当時の小学校3年生から5年生の中で599人いたこと、さらに今後の潜在需要等を見込んで計画値とした。しかし、実際の上学年の実績は平成27年度で92人、平成28年度で114人、平成29年度で117人となっており、差し引きの数値のとおりに計画値との乖離が生じている。